

# 生理検査総括

中島 直美

[大垣市民病院]

2017 年度も従来通り日臨技システムを利用した出題形式となった。昨年とのシステム上の変更点は無い。

本年度の参加施設数は、総数33 (36) 施設、心電図 33 (33) 心臓超音波 29~30 (29) 血管超音波 20~21 (23) 腹部超音波 14~16 (17) 神経生理検査 脳波 24 (26) 神経伝導速度 22 (21) であった。 ※ ( ) 内は前年度件数。

本年度設問数は、心電図 4問 心臓超音波 4問 血管超音波 2問 腹部超音波 (その他を含む) 4問 神経生理検査 4問 (脳波2問 神経2問) で、昨年と同様であった。また、評価対象外とした設問は無かった。

動画閲覧状況のアンケートでは、回答のあった14施設中8施設で『ほぼ問題なく表示された』であった。『ダウンロードしてから閲覧可能であった』が2施設『閲覧することができなかった』が3施設あった。超音波検査のほとんどの設問で動画での出題がされており、スムーズな閲覧ができるような改善が必要と考える。

本年度においても、精度管理調査が検査データの是正に役立つよう1次評価公開後に再入力期間を設け、昨年同様、再入力期間に結果の訂正を行った施設には「是正処理報告書」を提出して戴いた。実際に再入力を実施した施設は、参加33施設中18施設であった。「是正処理報告書」の提出は15施設で、未提出は3施設、結果の訂正がおこなわれていない施設が3施設であった。

なお、設問ごとの再入力実施状況を以下に示す。  
心電図：(設問2) 1/33施設、(設問3) 7/33施設、(設問4) 1/33施設。心臓超音波：(設問1) 2/30施設、(設問2) 5/29施設、(設問3) 1/30施設、(設問4) 1/29施設。血管超音波：(設問1) 2/21施設、(設問2) 5/20施設。腹部超音波：(設問4) 5/14施設。神経生理：(設問1) 2/24施設、(設問2) 1/24施設であった。

分野別正答率は、以下の表の通りとなった。  
(上段は1次：下段は2次)

	心電図	心臓 超音波	腹部 超音波	神経 生理
設問 1	100.0	93.0	100.0	91.7
	100.0	100.0	100.0	100.0
設問 2	97.0	65.5	100.0	95.8
	100.0	100.0	100.0	100.0
設問 3	72.7	93.3	100.0	100.0
	93.9	96.7	100.0	100.0
設問 4	97.0	86.2	57.1	100.0
	100.0	89.7	92.9	100.0
平均	91.7	84.5	89.3	96.9
	98.5	96.6	98.2	100

  

	血管 超音波
設問 1	90.5
	100.0
設問 2	75.0
	95.0
平均	82.8
	97.5

来年度への課題としては、①「是正処理報告書」の提出率を100%とすること②「是正処理報告書」の記載内容③動画閲覧状況の改善などが挙げられる。

生理機能検査は各検査で専門性が高く、年々進歩している。問題作成が部門員だけでは対応できなくなっているために部門員以外にも作成依頼をしている。部門員を増員し、研修会を行って各施設のレベルアップが必要だと考える。